

岩国小学校だより

令和3年(2021年)5月31日

6月号

岩国市立岩国小学校

5月22日(土)の体育発表会は、心配していた天気も子どもたちに味方して、絶好の体育発表会日和となりました。保護者の皆様には、限られた時間ではありましたが、ご参観ありがとうございました。各学年がゴールデンウィーク明けの2週間という短い期間での練習でしたが、集中して取り組み、成長した姿をお見せすることができたものと思います。

さて、家庭での学習と学校での学習の違いはなんでしょう。それは当たり前のことですが、「学校は集団の中で学ぶことができる」点です。

人間は社会的な動物であり、集団の中でしか生きられないと言われていています。集団の中で人間関係をつくり、一緒に話をしたり、活動したりして、いろいろな考えに接することで自我が形成されていきます。いろいろな集団に接すれば、さらに視野が広がります。一人していると自分自身の考えのみになり、他の人の意見を受け入れにくくなります。

集団の中でコミュニケーションをとる時に、話を最後まで聞くことや相手の目を見て話すこと、相手の意見を尊重すること等が基本として挙げられます。学校教育では、授業という集団学習活動の中で指導しています。それでも、今の子どもたちはコミュニケーション能力が不足していると言われていています。集団の中にいることよりも一人でいることの方が多い環境だからかもしれません。しかし、コミュニケーション能力は高めていかなければなりません。そのためには、いろいろな集団、いろいろな人と関わることが必要です。

学校では、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、授業をはじめ、行事や集団活動を通して、コミュニケーション能力を育成していきたいと考えています。

今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



6年生「集団行動」の演技

担任の異動について

プライバシー保護のため、掲載しません。



心のクローバーを大きくしよう

あきらめない
心

正しい心

広い心

教室や廊下、職員室など、校内のいたるところに、左のような「心のクローバー」を掲示しています。そこに示している「あきらめない心」「正しい心」「広い心」の3つの心は、道徳教育の研究を進める中で、本校のめざす児童像を踏まえ、全教職員で考えたものです。

先日の体育発表会の振り返りでは、最後まで一生懸命演技・競技する姿から「あきらめない心」が、ルールを守ってよい態度で参加する姿から「正しい心」が、勝ち負けにこだわらず、みんなで力を合わせて競技・演技する姿から「広い心」が大きくなったと、お互いの成長を喜び合いました。

学校における道徳教育は、道徳科の授業はもとより、各教科や学校行事など、あらゆる教育活動を通じて行います。子どもたちも教職員も、3つの心を常に意識して生活し、心のクローバーを大きく育てていきたいと思っています。学校で学習したことが家庭や地域での実践の場でも生かされるよう、見守ってください。